

2025年6月3日

各 位

会 社 名 株式会社オリエントタルコンサルタンツホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則
(東証スタンダード市場・コード番号2498)
問合せ先 取締役統括本部長 橋 義 規
TEL 03-6311-6641

株式会社オリエントタルコンサルタンツグローバル PT MRT Jakarta 社の TOD 促進を支援

当社グループの事業会社である株式会社オリエントタルコンサルタンツグローバル（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：米澤栄二 以下：OC Global）は、インドネシア国ジャカルタの TOD 促進を支援しており、その一環として、2025年6月2日、PT MRT Jakarta 社（PT.MRTJ）が TOD 促進のために建設した複合施設『トランスポートハブ』内に、OC Global が幹事会社を務めている「ジャカルタ MRT 南北線 2 期入札支援・施工監理」の事務所を設立しました。南北線 2 期施工完了予定の 2030 年 2 月まで PT.MRTJ の TOD 促進を緊密に支援していきます。



『トランスポートハブ』全景



『トランスポートハブ』内の事務所前で
右 PT.MRTJ 建設担当役員 Weni Maulina 氏
左 OC Global プロジェクトマネージャー 西澤健太郎さん

PT.MRTJ は、ジャカルタ特別州の MRT (Mass Rapid Transit, 大量高速輸送) 運行会社で、さらに、州知事令により MRT 沿線の TOD (Transit Oriented Development, 公共交通指向型開発) のマスターデベロッパーとして指定されている公企業です。

2024 年 7 月、PT.MRTJ はジャカルタでの一番の交通の結節点であるドックアタスに、TOD のモデルケースとして、ホテル・オフィス・商業施設などからなる複合施設『トランスポートハブ』を完成させました。『トランスポートハブ』からは、MRTJ BNI ドックアタス駅、在来線の KCI スデルマン駅、ジャボデベック LRT のドックアタス駅、空港線の BNI City 駅へ徒歩数分でアクセスすることが可能で、市民の利便性が大きく向上しています。インドネシア初となる TOD は、都市居住者のライフスタイルや移動ニーズを支えるものであり、近距離で安全かつ快適、かつ手頃な交通手段を求めるジャカルタ市民の願いを実現するものです。

OC Global は、1980 年代よりジャカルタ首都圏の交通マスタープラン策定を始めとする数々の交通ネットワーク構築事業に携わっており、最近では PT.MRTJ が運営するジャカルタ都市高速鉄道 (MRT) 南北線フェーズ 1 の入札支援・施工監理業務、南北線フェーズ 2 の設計・入札支援・施工監理業務、東西線の設計業務を実施しており、2019 年 3 月に南北線フェーズ 1 が開業しました。また、OC Global は、PT.MRTJ と TOD 支援や海外協働の覚書を締結しており、円借款事業で設立・育成された鉄道事業者としての PT.MRTJ の更なる発展が実現できるように支援しています。

OC Global は質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱なインフラ整備を通じて、当該国の経済発展を支援しています。



以上

<本資料に関するお問い合わせ先>
株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル
担当 広報室 富田早季
TEL: 03-6311-7570 FAX: 03-6311-8020
[URL:www.ocglobal.jp](http://www.ocglobal.jp)